

# 会報ひまわり

創刊第8号

## 目次

- 1:療育知識〈ルールを指導する上でのポイント〉
- 2:講座のお知らせ

## 療育知識〈ルールを指導する上でのポイント〉

創刊第5号でも少し記載しましたが、「子どもにルールの指導を行なう際には、一度に沢山のルールの指導をしていないか」が、ルールを指導する上で大切な知見となります。

それでは、どのような設定が望ましいのでしょうか。

### ①「家庭内」で教えたいことは、まずは2～3つ程度に絞ること

同時に複数の行動へターゲットを当てると、子どもの行動の変化を査定しにくくなり、保護者の方にとっても負担になります。

特に実行するに当たって、はじめは2つ程度の行動にターゲットを当てると良いでしょう。

### ②減らしたい行動と、増やしたい行動をその回数の中から決める

増やしたい行動を入れることで、子どもを沢山褒めることができ、子どもの成長を促していくことはもちろん、子どもの成長が分かりやすくなります。

子どもが喜んでいる顔を見ることも、保護者の方にとって動機付けとなりえます。

### ③介入のはじめは、最も達成しやすいものを選択する

介入に効果があることを実感するまでは、まずは達成しやすい内容から始めていきましょう。

はじめに教えることが難しすぎると、当然子どもにとっても達成が困難であり、保護者の方も効果に実感が持てずに、継続していくことが難しくなります。

### ④決めたことを忘れないように記録をとる

日々の生活の中での介入になりますから、決めたことをいつの間にかうやむやになってしまうことがあります。

そうならないようにするためには、決めたことは記録しておく良いでしょう。

また、必要に応じて、指導の結果、ターゲットに当てた行動の回数がどのように変動しているかも記録しておく良いでしょう。

上記4点は、家庭で、ルールを指導していく上での基本的な考え方です。

## 講座のお知らせ

会報ひまわりをご覧いただきまして誠にありがとうございます。

25年4月より開催されます講座につきまして、この場をお借りしてお知らせさせていただきますので、是非ご覧いただけましたら幸に思います。

<【25年度4月開催】グループペアレントトレーニング基礎講座開催のご案内>

当会では、4月より、恒例となりました“グループペアレントトレーニング基礎講座”を開催いたします。

本講座につきましては、1回の個別での講義及び4回の講義により構成され、全5回コースとなっております。

ペアレントトレーニングとは、保護者の方に対して、特別なニーズを必要とする子どもへの、より適切な関わり方や、日常生活の中での各場面における望ましい介入方法を学んでいただくためのものでございます。

なお、講義終了後には、毎回質疑応答の時間を設けさせていただき、丁寧なご説明を心がけていきますとともに、すぐに実践していただけますよう、具体的なアドバイスにつきましても行わせていただきます。

また、最終日には、ご家庭内での療育の参考としていただけますよう、課題リストの冊子の配布も行わせていただく予定でございます。

募集要項及び詳細につきましては、当会ホームページ〈ペアレントサポート事業〉をご覧ください。

<【25年度4月 18 日(木)10:00～開催】保護者向けセミナー開催のご案内(NPO法人すくすくにて)>

NPO法人すくすくにて、当代表尾申光康が講師を担当する“保護者向けセミナー”のご案内をさせていただきますと思います。

本セミナーにつきましては、当代表がアドバイザーを務めております、NPO 法人すくすく(所在地:

川崎市)にて開かれる予定でございます。今回のテーマは、『自立とは～そして各時期における自立を育てていくためにやるべきこと』という題目となっております。

“自立とは何であるか?”“自立のために、各時期においてどのような取り組みが必要であるのか?”等、それぞれの方の年齢及び発達ステージに関わらず、様々な角度からお話をさせていただく内容となっております。

詳細につきましては、NPO 法人すくすくホームページ(当会ホームページリンク)にて、ご確認いただけましたら大変幸いです。

ご興味をお持ちのようでしたら、どうぞお気軽にお申し込みいただけましたらと思いますため、何卒よろしくお願い申し上げます。